

# 【第2回】肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

## ●第2回肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・実施日：平成28年5月25日(水) 13:00～14:00
- ・場所：大洲市総合福祉センター 4階 多目的ホール
- ・出席者：大洲市長、大洲地区広域消防事務組合長（大洲市長）  
南予地方局八幡浜支局長、南予地方局大洲土木事務所長  
松山地方気象台長  
大洲河川国道事務所長、山鳥坂ダム工事事務所長、野村ダム管理所長
- ・事務局：大洲河川国道事務所、大洲土木事務所

## ●開催状況



## ●決定事項

- ・ 第1回協議会で決定した目標である『手のひらのような、洪水が集中しやすい地形特徴を踏まえ、肱川で発生しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」や防災機能の維持を含む「社会経済被害の最小化」を目指す』に対し、「年超過確率1/100規模の水害」を想定した**取組方針を、四国で初めて定めた。**
- ・ 取組の具体的な内容としては、**ハード対策**では、堤防整備やダム建設等の実施に加え、**避難行動、水防活動の迅速化を図る施設整備等**、**ソフト対策**では、**避難行動に特に重要なリアルタイムの情報提供等を、関係機関が連携して進めて行く。**

## ●構成員発言要旨

- ・ 鬼怒川の浸水区域では新しい住民が多く、過去の氾濫等を知らなかったために被害が大きくなったのではないかと。肱川においても、**過去の災害履歴等（氾濫、浸水等）を整理し、伝えていくことが重要**であり、今回の取組で検討して欲しい。また、**水害の歴史について国、県、市が連携し学校教育に活かしたい。**（大洲市長）
- ・ 愛媛県としても**積極的に協力**していきたい。（八幡浜支局長）
- ・ 今年は台風がまとまってくると言われており、その中で逃げ遅れゼロの取組は大事。いかに**住民の方が意識**して頂き、また**各機関が意識を共有**する必要があると思うので、県としても**取組を継続**していきたい。（大洲土木事務所長）
- ・ **水害を語り継ぐことが大事**である。気象台としても積極的に協力したい。（松山地方気象台長）